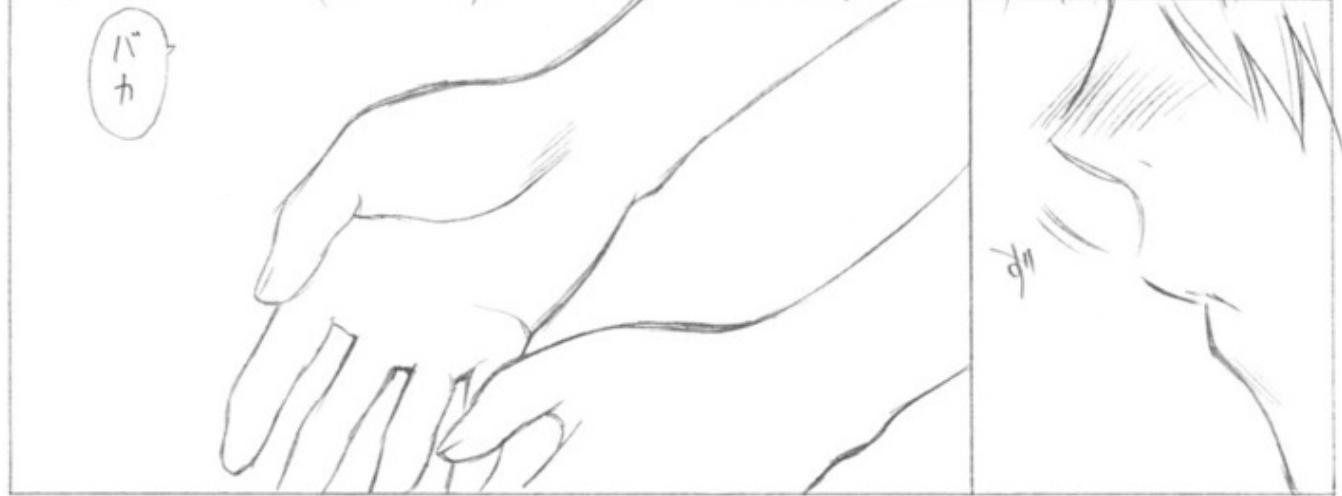


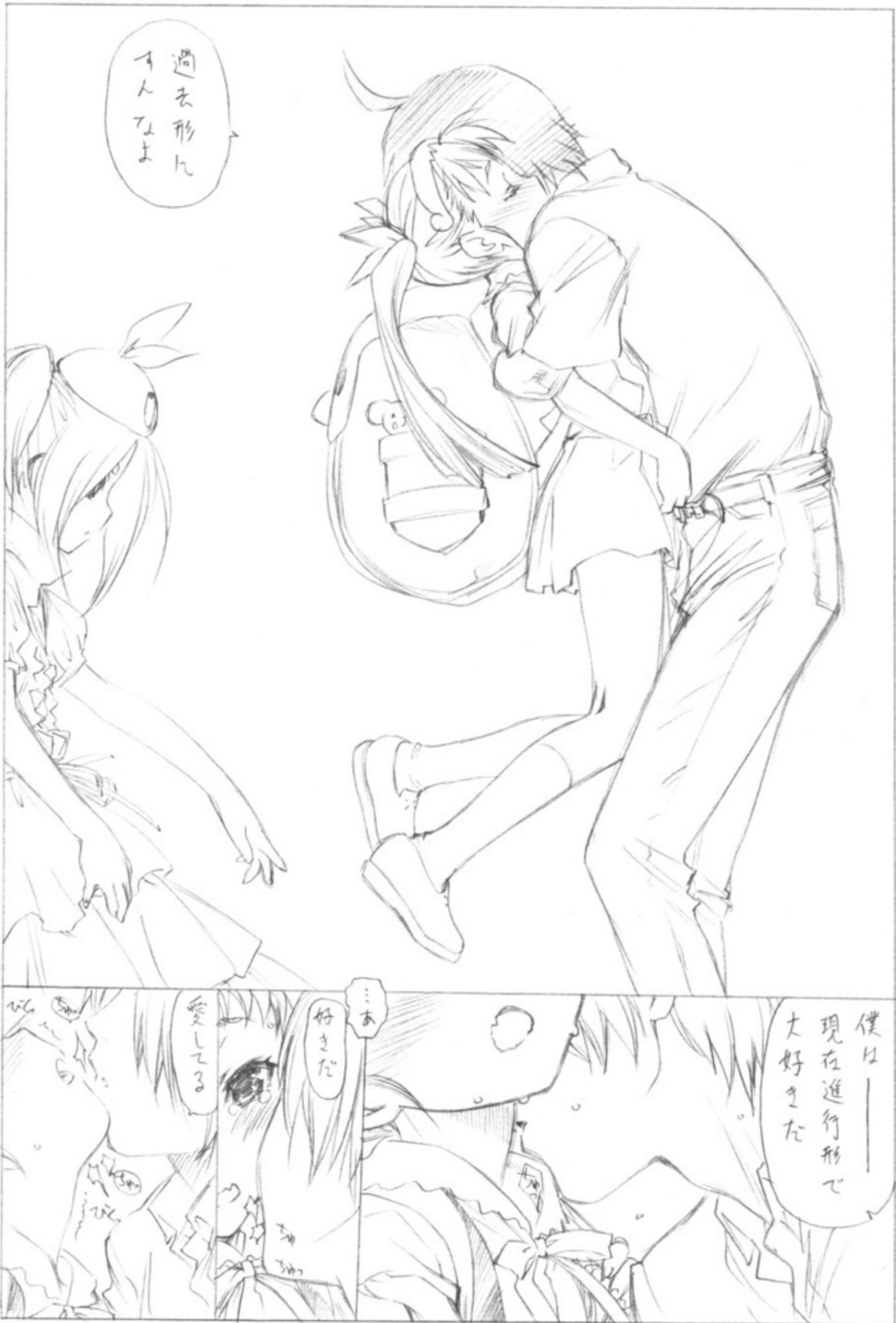
あれ や 最 阿 あ
りまし 後 良 々木 ま
うよ に え 木 え
よ

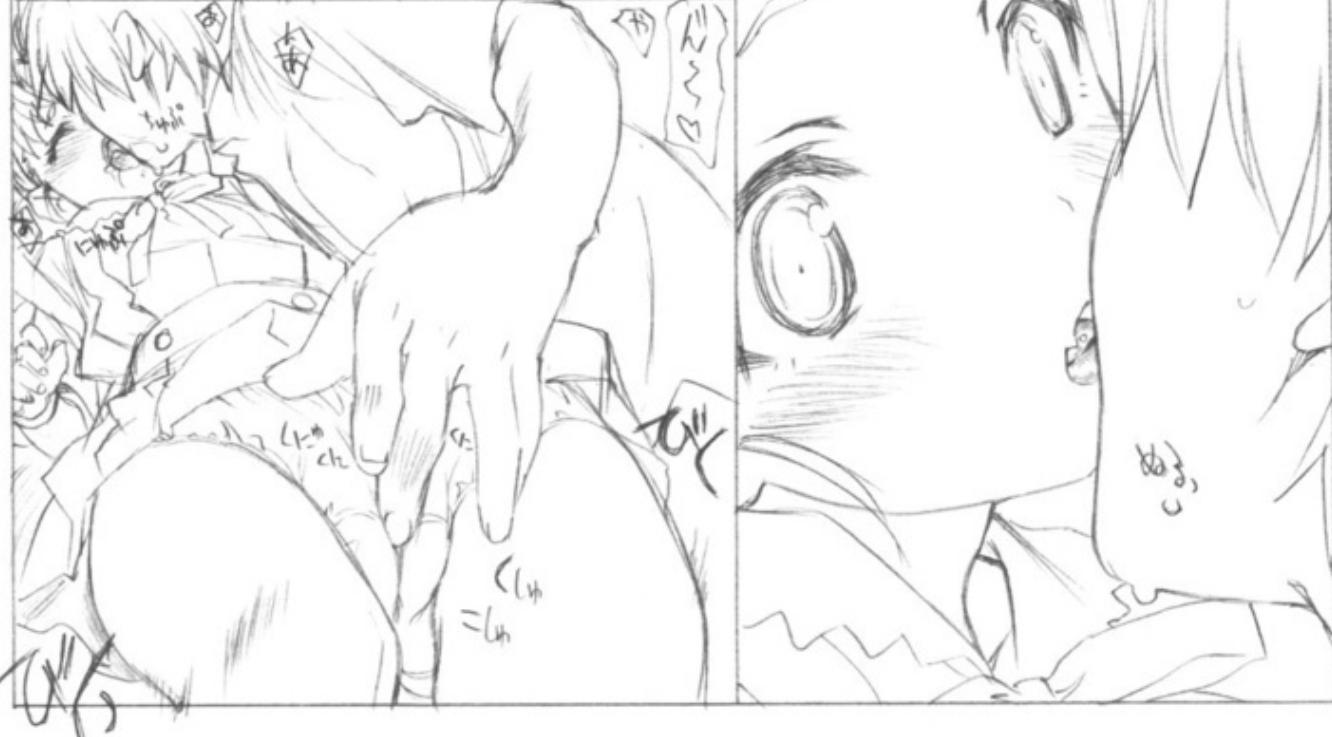
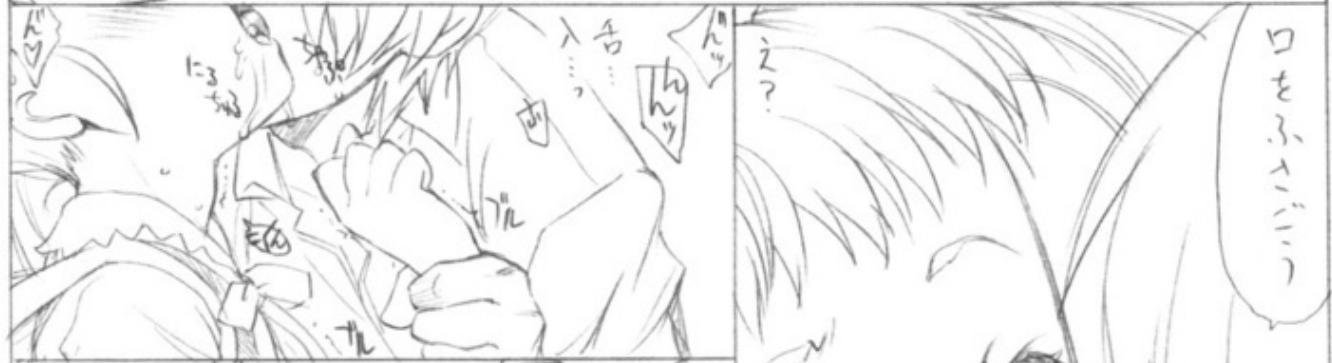
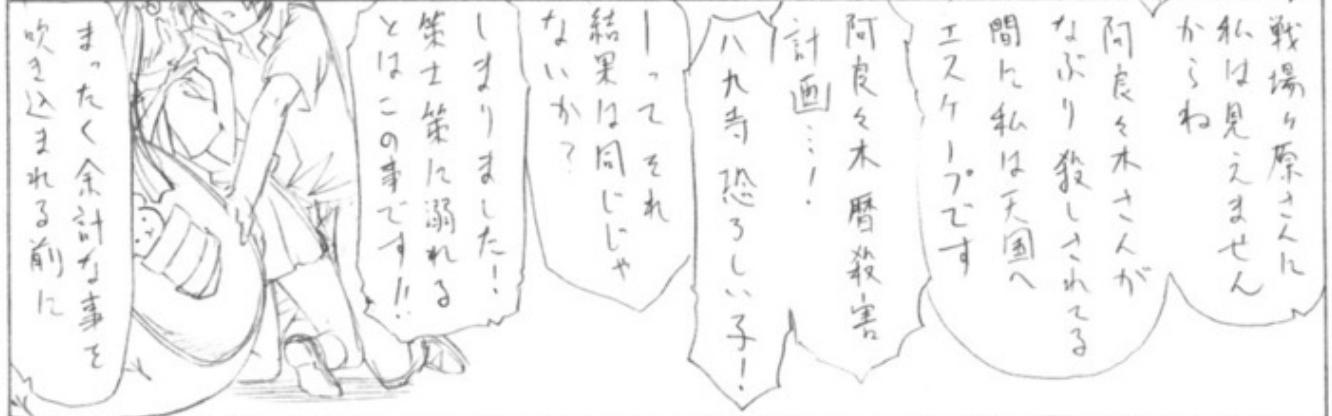
* とりあえず「鬼物語」は読んでおいたね

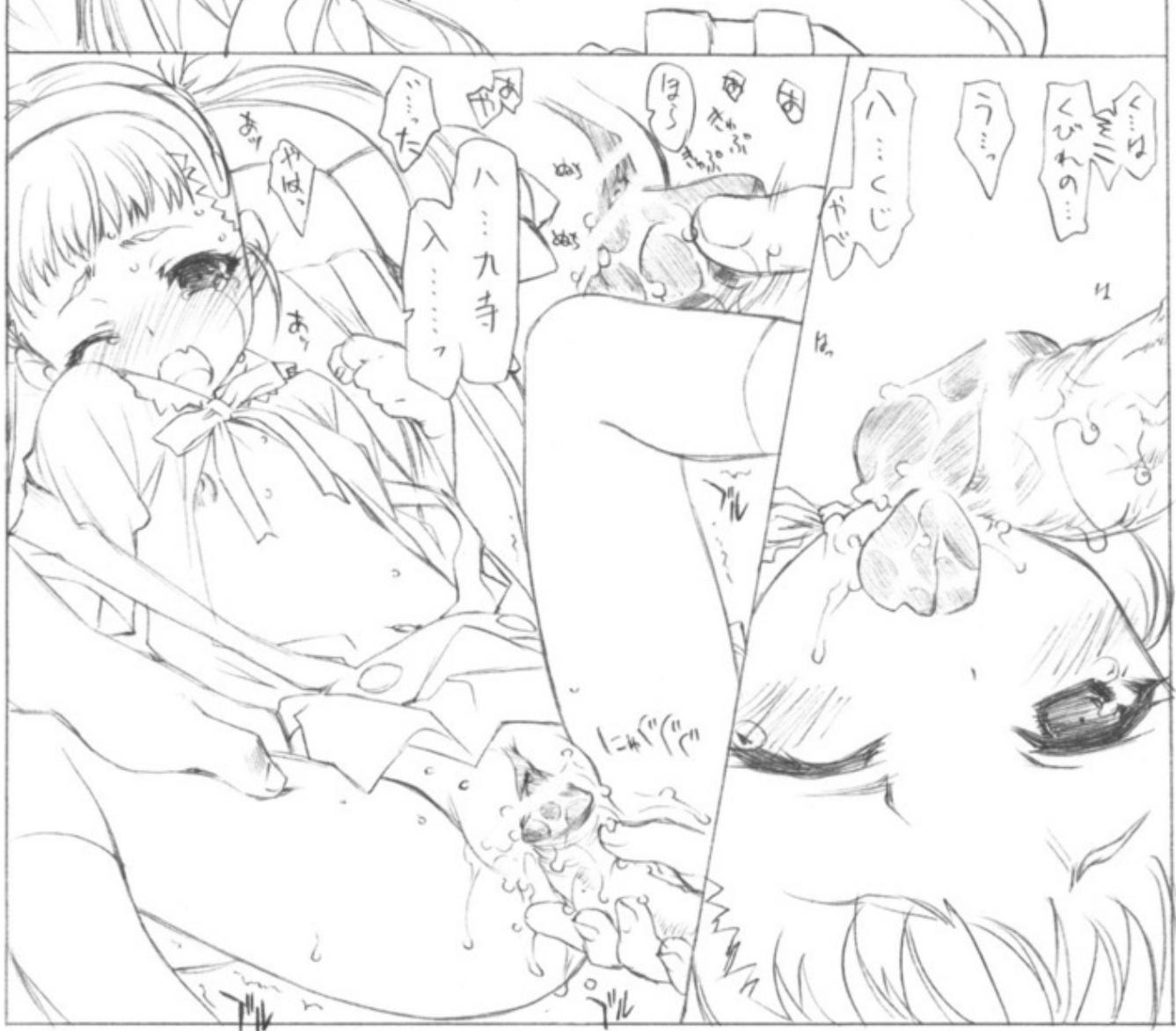






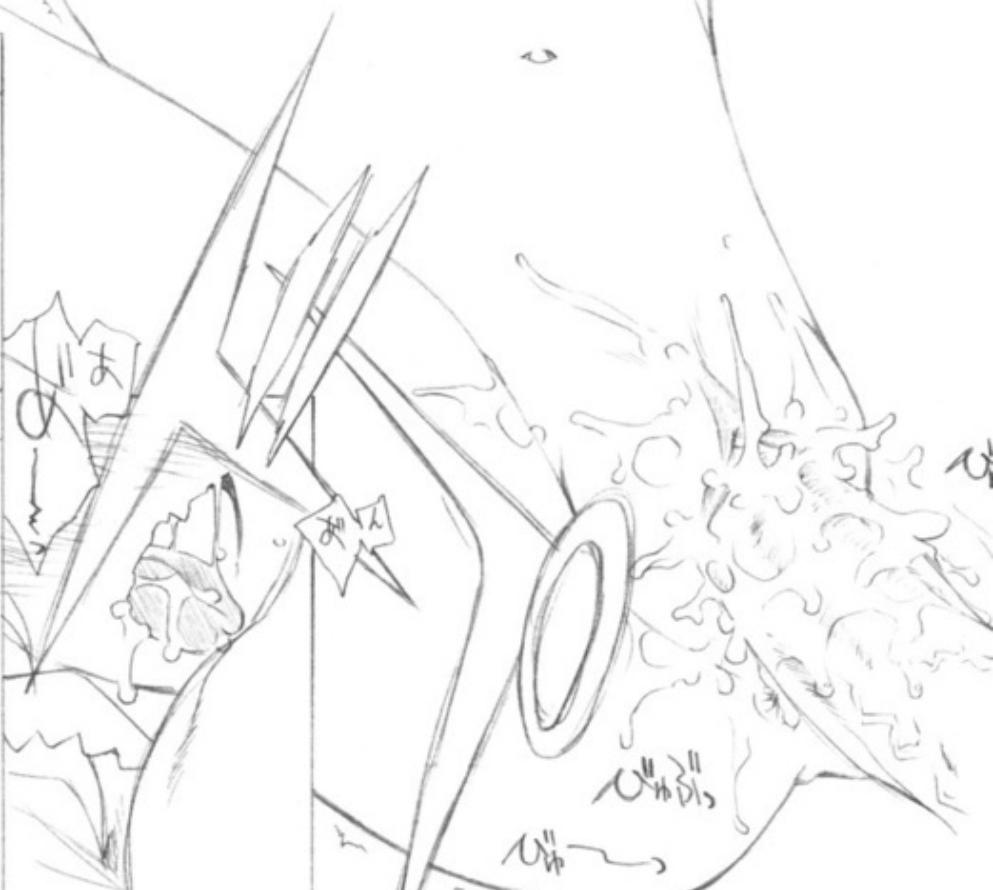


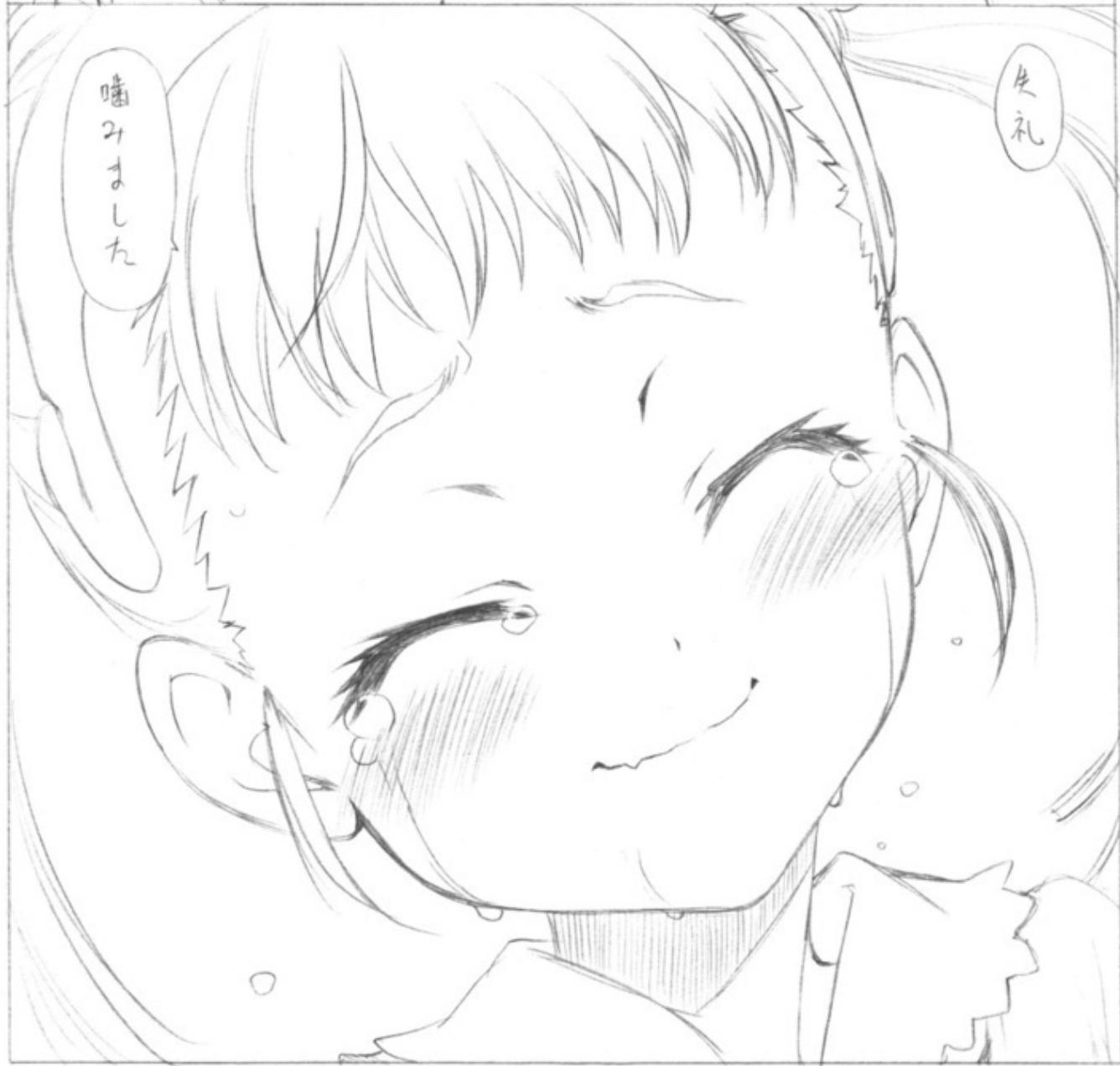
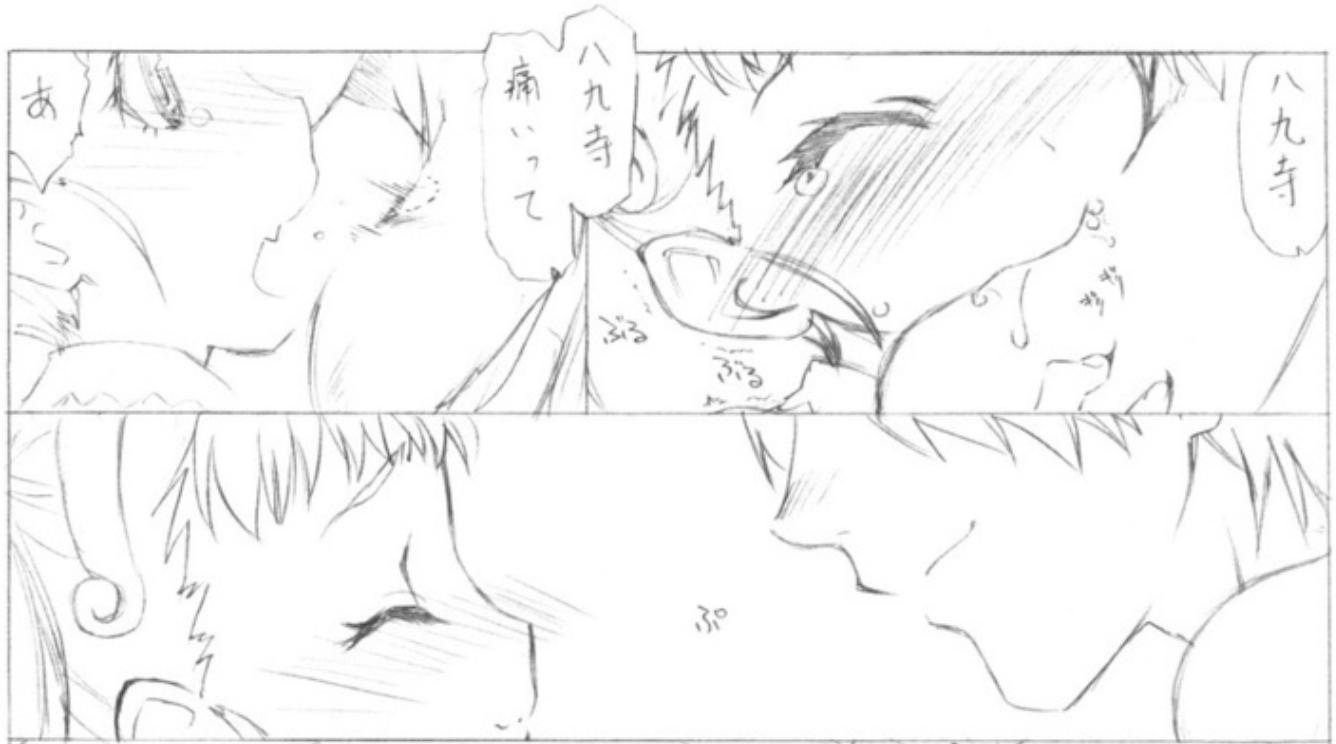












うわー、死ぬかと思った！ …てか、「Another」なら死んでた。

というわけでこんにちは。うたたねです。
いきなりなにかというと、自転車に乗っていたら普通何の問題もない
2cm位の段差で、前輪がはずれたかと思うほどの衝撃とともに、
自転車ごと前方一回転、顔から地面に突っ込んだのでした。
何をどう上手く受け身を取ったものか、一番酷い被害が左前歯が
3分の1削り取られただけで済んだのは幸いというべきなのでしょう。
でもどうやったらその歯だけ削り取れるのかいまだにわかりません。

というわけで、生きてることを噛みしめつつ、
昨年改めてお亡くなりになった「八九寺 真宵」追悼本です。
本当はもう一本「EVOL」のジン君ネタと合わせ、コミ1☆6での
あかざーさん本に入れて、お気に入りキャラの追悼本になる予定でした。
うう…、あの掛け合いがもう見れないとは…！
なんか引っ掛け有りそうな気もしますが。
撫子もあんなどったし、さすが西尾維新容赦ないなー。
うん、2期は全体に辛かったですね。
3期はどうなっちゃうんだろー。

腕のケガで思うように作業できなくて、省略版になってしまったのは
心残りですが、まあ、うたたねは恥ずかしながらいつもこんなものです。

では、機会があれば、また。

うたたねひろゆき



「あ そうだ 阿良々木さん 最後にあれやりましょうよ あれ」

発行日
2012/05/20
ぶにケット25
印刷所
(有)ねこのしっば

UROBOROS

無断転載・無断複製、web上へのアップロードはこれを禁じます。